



あかね

Vol.14

令和1年6月発行
独立行政法人国立病院機構
東近江総合医療センター
広報委員会

7月から当院は敷地内全面禁煙になります。

東近江市胃内視鏡検診をご存知ですか？

消化器内科医長 伊藤 明彦

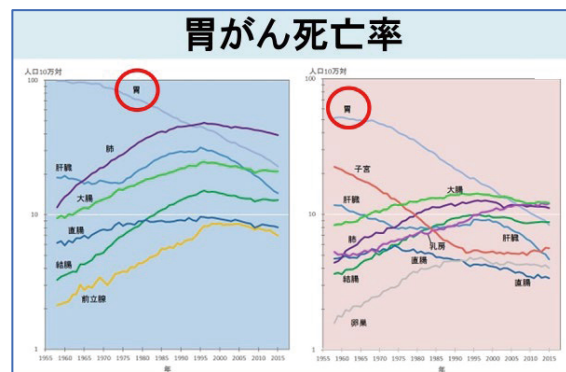
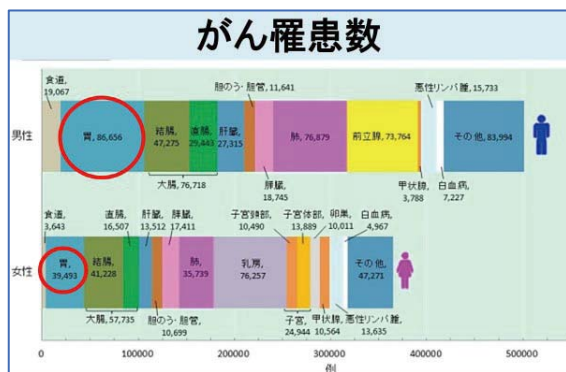
日本人の死因の第一位は「がん」ですが、その中で罹患数が最も多いのが「胃がん」です。ただし、胃がんは、その原因の一つであるヘリコバクター・ピロリ菌の除菌療法や、早期発見の技術、治療の進歩によって、死亡率が年々減ってきています。胃がんは、がんの中では最も治りやすいがんなのです。

2016年2月、厚生労働省は指針をまとめ、市町村のがん検診で胃内視鏡検診を推奨することになりました。東近江市でも、昨年4月より「東近江市胃内視鏡検診」が当院ではじまりました。昨年度は、計414名が内視鏡検診を受け、3名に胃がんが見つかりました。幸い3名とも早期がんで、内視鏡治療が選択されました。

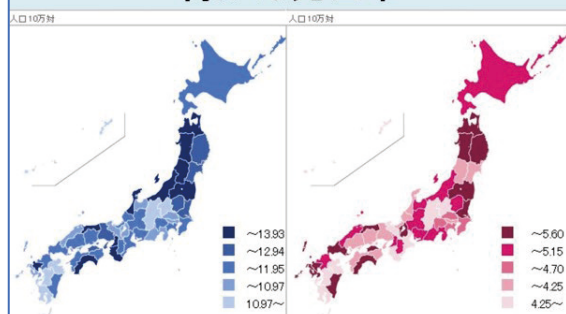
加えて、全体の1/10にヘリコバクター・ピロリ菌感染が判明し、除菌療法によって胃がんの予防につなげることもできました。

胃の内視鏡検査は、嘔吐反射が辛いので受けたくない、との声もありますが、苦痛が比較的少ない経鼻内視鏡での検査も可能です。胃透視検査（バリウム）と違って、胃内視鏡検診は2年に1回で済みます。

胃の検診を受けたことがない方、しばらく受けていない方、ぜひご相談ください。



胃がんが最も多い 胃がん死亡率



滋賀県は女性の死亡率が高い

胃がんは治る ご注意ください

以下の方は胃内視鏡検診を受けることができません。

- ・妊娠中
- ・胃潰瘍など胃疾患で受診中
- ・胃全摘術後
- ・呼吸不全
- ・急性心筋梗塞、重篤な不整脈
- ・出血傾向
- ・全身状態が悪い
- ・胃の症状がある人
- ・ピロリ菌除菌後数年以内の人
- ・年1回の胃カメラを指示されている人